

令和2年度 百々小だより 前期学校評価特別号

【学校教育目標】 学び合い つながり合い

～安心と自信に満ちて主体的に学び、言葉・見方・考え方を働かせ、課題解決できる子～

京都市立百々小学校

校長 山本 直樹



◎「よく出来ている」「大体できている」との回答結果

設問（児…児童 保…保護者 教…教職員）		%
豊かな心		
児	学校は楽しいですか。	90.0%
保	子どもは、楽しく学校に行っている。	95.8%
教	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	96.8%
児	学校のきまりや約束を守っていますか。	91.9%
保	子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	94.6%
教	子どもは、学校のきまりや約束を守っている。	87.1%
児	相手に届くあいさつをしていますか。	83.3%
保	子どもは、明るく元気なあいさつができています。	78.2%
教	子どもは、明るく元気なあいさつができています。	62.5%
児	自分や人を大切にしていますか。	93.6%
保	子どもは、自分や人を大切にする気持ちや態度が育っている。	91.6%
教	子どもは、自分や人を大切にする気持ちや態度が育っている。	93.3%
児	家でも学校でも時間を守って活動することができていますか。	83.4%
保	子どもは、時間を守って活動している。	76.7%
教	子どもは、時間を守って活動している。	77.4%
児	先生や家族に困ったことを相談したり、学校の出来事などを話したりしていますか。	81.6%
保	子どもは、困っていることや学校の出来事などを家で話している。	86.6%
教	子どもは、困っていることを相談したり、出来事を話したりしている。	90.3%
確かな学力		
児	家や学校などで進んで読書をしていますか。	65.0%
保	子どもは、家で進んで読書をしている。	29.4%
教	子どもは、学校で進んで読書をしている。	51.9%
児	自分のめあて（学級目標、学習、生活）に向かって努力をしていますか。	84.1%
保	子どもは、いろいろな目標に向かって努力している。	66.3%
教	子どもは、目標をもち、その達成に向けて努力している。	92.3%
児	家で宿題などの家庭学習をきちんとしていますか。	88.9%
保	子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	88.8%
教	子どもは、宿題などの家庭学習をきちんとしている。	100.0%
児	授業でわかったり、できるようになったりしていますか。	92.8%
保	子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	71.5%
教	子どもは、分かるまで学習に取り組んでいる。	85.2%
児	人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話していますか。	84.0%
保	子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	65.5%
教	子どもは、人の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと話している。	64.3%
児	学習の準備を自分できちんとして、忘れ物をしないように気をつけていますか。	87.3%
保	子どもは、学習の準備を自分できちんとしている。	85.0%
教	子どもは、忘れ物をしないように気をつけている。	74.1%
健やかな体		
児	早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、健康に気をつけていますか。	80.7%
保	子どもは、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が身についている。	80.2%
教	子どもは、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が身についている。	62.1%
児	日頃から外遊びや運動をしていますか。	80.2%
保	子どもは、日頃から外遊びや運動をしている。	67.8%
教	子どもは、日頃から外遊びや運動を積極的に行っている。	76.7%

夏休み前に学校評価のアンケートを実施いたしました。その結果と考察をお知らせいたします。これらの結果を参考に今後の学校教育活動にいかしていきたいと思ひます。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

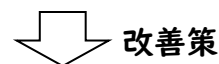
＜結果の考察＞

児童・保護者・教職員ともに、子どもたちは学校生活を楽しく過ごし、充実したものとなっているようです。また、自分や人を大切にする気持ちが育っていると感じています。

一方で、肯定的な評価が低い項目もいくつかあります。その中でも気になるのは以下の3つの項目です。

①あいさつについて

大人と子どもとの数値に差がありました。あいさつはしているが、「相手に届いているのか」という点でズレが生じているのだと考えられます。また、「どのタイミングであいさつをすればいいのか」と困惑している児童も少なくありません。あいさつは、コミュニケーションをとる基本となるため、日ごろから習慣づけさせたいものです。

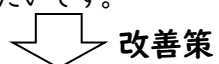


改善策

- ・大人からあいさつをする姿を見せる。
- ・自分たちのあいさつをふり返る時間を設ける。
- ・気持ちの良いあいさつを褒める。

②読書について

進んで読書をする児童が減少しています。本に触れることで、語彙力の向上や感受性や世界観の広がりにもつながります。日々多忙のことと思いますが、子どもたちが本に触れる機会をぜひつくっていただければありがたいです。

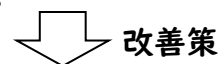


改善策

- ・読み聞かせや本の紹介を充実させる。
- ・引続き朝読書の時間を確保する。

③話す・聞く力について

人の話をよく聞き、自分の考えを話す力にも課題が見られます。スマートフォンやインターネットの影響があるのかもしれませんが、人と人との関係性が薄れていくことで、コミュニケーション能力が低下していくと考えられます。



改善策

- ・集中して話を聞ける環境をつくる。
- ・聞きたい、話したいと思えるような場面を設定する。
- ・話す順序や話し方・聞き方を掲示する。
- ・話す機会を意図的につくる。（授業の工夫改善）

これらのことを実践し、改善していきたいと思ひます。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

＜学校運営協議会の理事の皆様からのご意見＞

- ・門の前だけでなく、出会ったら自然にあいさつのできる子に育てほしい。そのために、もっと大人同士であいさつをすることを大切にしていきたい。
- ・本の良さを伝え、大人も一緒に本を楽しむことが大切。また、好きな本を自由に読める環境をつくることも必要だと思う。